

破壊のための訓練やめよ

3万人が抗議の行動

日米合同軍事演習に反対 一日出生台



マイカー2,500台、バイク600台、バス340台、JRの事故で到着していない時点で29,000人。会場のバックには日出生台がきれいな稜線を見せていた。

ゴ・ホーム・ヤンキー

テレビのニュースでも放映され、日本の自衛隊とアメリカ軍の大きましたが、十一月一日から十日間、かなり合同軍事演習が進行され、大分県玖珠町の日出生台演習場で、

この日米合同演習に反対する全国抗議集会が一日、現地で開催され、私たちが三池炭鉱からもマイクローバスで参加しました。

会場は玖珠河原は、赤、青、黄、色の風船やゼッケンをつけた三万人の人々で溢れ、「子供たちを戦場に送るな」と書いたノボリやゼッケンをつけた日教組の先生など、十一月十日発行から

集会アピール

いま、私たちは全国から、この玖珠町に集まっています。

美しい山、澄んだ川、こころよい風、私たちは、重宝の里と呼ばれているこの町に安らぎと暖かさを感じています。

しかし、私たちは朝光にきたのでも、休養にきたのでもない。この町に、アメリカ軍の軍隊がやって来て、鉄砲を手に、大砲をうち、戦車や攻撃用ヘリコプターを使い、戦さの練習を始めようとしているから、やめるよう訴えるためにやって来た。

私たちの国日本は、四十二年前の悲惨な戦争のあと、軍備を持たない、戦争をしないという憲法を定めた。しかし、その憲法が有名無実化されようとしている。防衛費の上限がGN

解説

のは、参加した米軍がハワイの第二十五歩兵師団(千六百)であること。この師団はあらゆる条件下で即時戦線にできるように訓練された部隊で、「日出生台程度の演習場は慣れたものだ」として、「自衛隊を訓練指導にきた」とも言われています。

また、日出生台の恒常的な合同演習場化の恐れとともに「九州の沖縄化」と言われるように、九州の前進基地化が憂慮され、反対の声が高まっています。

III 時の問題 III

大型間接税導入の配置

竹下 野党とのパイプ誇示

熊 竹下内閣ができたが、熊 そんなにうまくいきません。物足りない感じがするがねえ。

二階 例えは焦点の税制改革では、宮沢蔵相の留任と副総理への格上げ。自民党内でも、

「税制改革協議会」座長の伊東正義氏を総務会長へ、売上税導入の急先鋒だった渡辺美智雄氏を政調会長へ、山中貞則・自民党税制調査会会長も留任となつておる。党主導をベースに、

熊 竹下さん自身も頼りない印象です。

二階 初めから「中曽根政治の継承」と知恵の無いことばかり言い、「コンセンサス主義」で根回し政治をやろうというのだから、潮気が感じられないと批判されても当然だ。

熊 それじゃあ、大したことではないですね。

二階 そう思うのは考えが足りない証拠だ。竹下政治をあれこれ否定するのは、中曽根内閣は「戦後政治の総決算」という改革路線を引いたが、本格的な実行はこれからだし、税制改革、日米貿易摩擦、土地問題と緊急課題も多い。こうした懸案を挙げて、官民、野党を含めて合意・実行するのが竹下内閣の任務だ。

熊 竹下さん自身も頼りない印象です。

二階 初めから「中曽根政治の継承」と知恵の無いことばかり言い、「コンセンサス主義」で根回し政治をやろうというのだから、潮気が感じられないと批判されても当然だ。

熊 それじゃあ、大したことではないですね。

二階 そう思うのは考えが足りない証拠だ。竹下政治をあれこれ否定するのは、中曽根内閣は「戦後政治の総決算」という改革路線を引いたが、本格的な実行はこれからだし、税制改革、日米貿易摩擦、土地問題と緊急課題も多い。こうした懸案を挙げて、官民、野党を含めて合意・実行するのが竹下内閣の任務だ。

三池炭鉱社宅の変遷

第十七回

過疎化社宅とアパート

武松輝男

三池炭鉱の社宅を歩き回って、十二戸に激減している。それだけでも炭鉱合理化がすすまざるも、入居希望者は多くいて、勤続年数が三池炭鉱が管理している社宅戸数のことに入居数ではない。

前者に当るはまるのが緑ヶ丘社宅である。およそ四十四万坪の敷地に千七百戸(昭和二十三年調べ)の五千五百九十九戸。これだけで驚いてはいけぬ。この五百

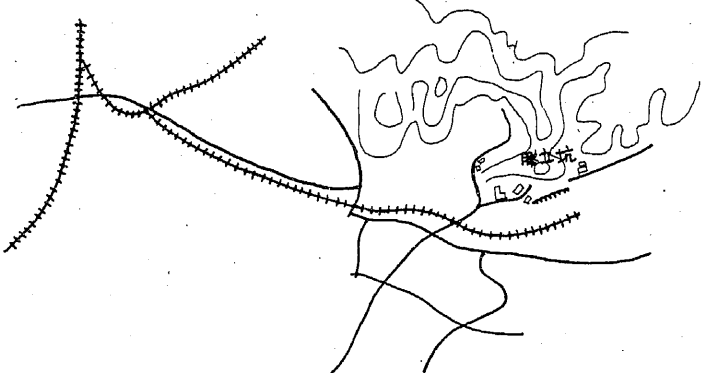
幾何学模様を描きながら建ち並んでいた。がその威容を誇っていたと言つてもいいこの緑ヶ丘社宅が昭和六十二年六月に発表している三池炭鉱社宅計画によると、九百

入居戸数、前出の資料・三池炭鉱社宅計画によると、六十一パーセントの五千五百九十九戸。これだけで驚いてはいけぬ。この五百幾何学模様を描きながら建ち並んでいた。がその威容を誇っていたと言つてもいいこの緑ヶ丘社宅が昭和六十二年六月に発表している三池炭鉱社宅計画によると、九百

入居戸数、前出の資料・三池炭鉱社宅計画によると、六十一パーセントの五千五百九十九戸。これだけで驚いてはいけぬ。この五百幾何学模様を描きながら建ち並んでいた。がその威容を誇っていたと言つてもいいこの緑ヶ丘社宅が昭和六十二年六月に発表している三池炭鉱社宅計画によると、九百

入居戸数、前出の資料・三池炭鉱社宅計画によると、六十一パーセントの五千五百九十九戸。これだけで驚いてはいけぬ。この五百幾何学模様を描きながら建ち並んでいた。がその威容を誇っていたと言つてもいいこの緑ヶ丘社宅が昭和六十二年六月に発表している三池炭鉱社宅計画によると、九百

大正頃の勝立坑附近



炭鉱合理化のありをうけて廃院入居戸数である。

この社宅にもかつて病院があった。勝立分府。

外科(手術室を含む)、内科、小児科、耳鼻科、眼科、歯科、マッサージ、婦人科、レントゲン、

大正灯をもち、病室も五病室を備えていた。この分府は昭和四十五年三月、廃院になった。

この勝立社宅は、疎と半疎がからみ合ったような、そういう社宅になっている。

緑ヶ丘、勝立という三池炭鉱の代表的な集団社宅の凋落。これも炭鉱合理化で意識的・意図的につくられたものであるが、それとはうらはらに、意識的・意図的に造られたのがアパートである。

前出の三池炭鉱社宅計画で、その入居状況をみると、九十五パーセント。職制ではない一般従業員が入居できるアパートの入居状況は、九十九パーセント。

過疎化と言つていい集団社宅と違って、隙間風ひとつ入らない。隙間風も風情がある、と住み人は言う。かつては、人の情もこの隙間から入っていたのだ。

短歌

墓碑銘

中尾種夫(小浜南)

三池炭組に残りしことの喜びを語りぬ今年の秋は引越しの手伝いに来し吾が非力あさける如き友の働き彼岸花は儚なき命くる年も華やかに咲けと移し換へたり幾度の誹謗に耐えて今宵飲む酒苦かりき多く飲まねど墓碑銘に三池戦士と刻みし力めて開く辞書は重し